

臨床研究「全身熱傷に対する術式選択、周術期管理に関する検討」について

筑波大学附属病院形成外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

全身熱傷の治療において皮膚移植術は必須な手術方法である。しかし手術方法はメッシュ植皮、パッチ植皮、シート植皮、人工真皮移植や皮弁移植の併用など多様であるうえ、手術前後の周術期の創管理の方法も多様でありそれぞれの優位性や選択基準に関しての報告が少ない。今回我々は当科で経験した全身熱傷に対する術式選択、周術期管理に関する検討を行う。

② 研究対象者

2011年9月から2021年9月までに当院で手術を受けた全身熱傷患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月31日まで

④ 研究の方法

当院において治療が行われた全身熱傷患者の術前、術後記録を後ろ向きに調査し、系統的な手術方針について検討する。

⑤ 試料・情報の項目

診療記録、臨床写真

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 形成外科 関堂充

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：形成外科 大島純弥

電話 029-853-3933(形成外科外来、平日8時30分～17時15分)

029-853-3525(休日、夜間救急受付)